



さかい しょう へい  
境 祥平

生年月 1990年11月福岡県生まれ  
最終学歴 2015年九州大学大学院  
人間環境学府  
空間システム専攻修了  
業務経歴 2015年(株)大建設 入社  
現在 九州事務所設計室  
アシスタントマネジャー

●担当した主なプロジェクト

- 2016年 国立病院機構菊池病院
- 2017年 RWC2019福岡会場改修
- 2018年 福岡赤坂・東比恵ホテル
- 2019年 世界水泳2023会場整備
- 2022年 岡山市可燃ごみ広域処理施設
- 2023年 大分県営明野住宅
- 2024年 菊陽杉並木公園拡張整備
- 2026年 長崎市・長与町新浄水場

■青年技術者のことば

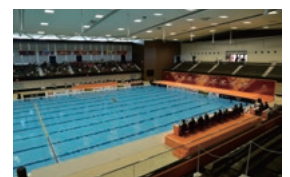
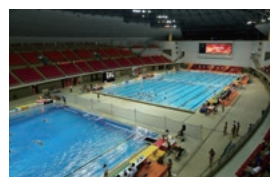
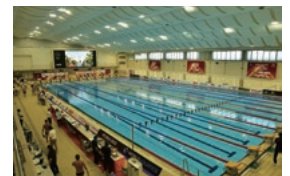
私は建築物を設計するとき、佇まいそのものの価値だけでなく、建物が使われることによって生まれる価値、文化や風景の一部として受け入れられる地域性といった要素が共鳴しあうようなものを常に目指してきました。それぞれの要素の重みは施設用途や建築主・利用者のニーズによって異なりますが、そのバランスをいかに保つかが重要だと感じています。

よりよい設計を進めるためには、建築主はもちろん設計チームや施工者、プロジェクト関係者の全員が目指すべき空間像を共有すること、その目標に向け綿密な対話を繰り返すことが必要だと考えています。そのために、社会情勢や経済状況を敏感に収集し不確実性に対するリスクを理解すること、そして建築主、利用者の要望を潜在的な部分まで掘り取り具体化することを、拙くとも誠実に示し続けることを心がけています。

これまで非常に幅広い用途の設計に関わる機会をいただき、貴重な経験を数多くさせていただきました。これらの機会が決して当たり前ではないことを胸に刻み、今後も設計者としての重い責務と楽しさを感じつつ、けれども決して驕らず、日々精進したいと考えています。

■すいせん者

湯原洋史  
(株)大建設  
上席執行役員  
企画戦略本部長 兼 九州事務所長



世界水泳選手権2023福岡大会／世界マスターズ水泳選手権2023九州大会会場整備



大分県営明野住宅建替事業